



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社IMAGICA GROUP

上場取引所 東

コード番号 6879 URL <https://www.imagicagroup.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 布施 信夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 森田 正和

TEL 03-6741-5742

四半期報告書提出予定日 2019年10月31日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	47,422	13.2	275		192		865	
2019年3月期第2四半期	41,904	0.8	710		649		164	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 10百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 1,207百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	19.64	
2019年3月期第2四半期	3.71	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	59,255	27,644	42.9
2019年3月期	64,725	27,897	38.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 25,443百万円 2019年3月期 25,150百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		5.00	5.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	5.0	1,680	81.0	1,200	52.0	1,800		40.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考) 営業利益には、費用としてのれん等償却費約11億円が含まれています。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社IMAGICAトータルサービス

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	44,531,567 株	2019年3月期	44,531,567 株
2020年3月期2Q	468,341 株	2019年3月期	478,341 株
2020年3月期2Q	44,056,942 株	2019年3月期2Q	44,200,631 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2)財政状態に関する説明	3
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1)四半期連結貸借対照表	4
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第2四半期連結累計期間の概況

当社は、グループを取り巻く成長機会と経営課題を踏まえ、グループの構造改革を加速し、成長と収益性を伴ったバランスのとれた事業ポートフォリオの構築を目指し、新中期経営戦略『総合力2021』を策定いたしました。

当期は、この新中期経営戦略に基づき、収益体質立て直しの年と位置付け、「映像を軸にグループ総合力を発揮」することを基本方針とし、各事業セグメントにおいてそれぞれの重点項目に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は474億22百万円(前年同四半期比13.2%増)、営業利益は2億75百万円(前年同四半期は営業損失7億10百万円)、経常損失は1億92百万円(前年同四半期は経常損失6億49百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億65百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億64百万円)を計上いたしました。なお、固定資産譲渡等による特別利益16億58百万円を計上いたしております。

②セグメント別の業績

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

1)映像コンテンツ事業

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は154億54百万円(前年同四半期比44.5%増)、営業損失は26百万円(前年同四半期は営業損失3億29百万円)となりました。

実写、アニメともに劇場映画作品の制作規模の拡大並びに件数が前年同期に比して増加し、また、TVCM、音楽ライブ収録も大型を含む案件数が増加して好調に推移したことにより、大幅な増収となりました。営業利益については、売上増による粗利益増加に加え、前連結会計年度末において実施したのれんの一時償却による償却費負担減とTVアニメシリーズにおける制作コストの低減等があり改善をしております。

2)映像制作サービス事業

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は126億76百万円(前年同四半期比4.4%減)、営業損失は57百万円(前年同四半期は営業損失28百万円)となりました。

映像コンテンツのポストプロダクション並びにE2Eサービス分野においては、デジタルシネマサービスが順調に進捗し、映画・アニメ向け等のポストプロダクションサービスは堅調に推移しており、売上は前期並みになりました。また原価コントロールが貢献し、利益面においては改善しております。

一方、人材サービス分野においては、連結子会社1社の売却やデジタルコンテンツ事業拡充への投資等により、前期に比して減収減益となりました。

※E2Eサービス:End to End。劇場映画やテレビドラマ作品などの映像コンテンツを編集等により作品として完成させた後に提供するサービス全般を言い、主にローカライズ(吹替、字幕付)とディストリビューション(*1)を統合したサービスを言う。

(*1)ディストリビューションとは、各メディア(劇場、VODやDVD/BDなど)へ映像コンテンツを配信するため、完成した作品の原版から、それぞれのメディア用にデータを作成、データチェック、納品の作業、及びその工程管理・素材管理を包括的に行うサービス。

3)メディア・ローカライゼーション事業

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は111億20百万円(前年同四半期比8.4%減)、営業損失は6億92百万円(前年同四半期は営業損失8億28百万円)となりました。

売上高については、欧州地域のテレビ番組向けローカライズの不調及び連結子会社2社の売却により、減収となりました。しかしながら、利益率の高い制作案件の好調な推移とともに、制作体制の見直しによる固定費削減を確実に進めたこと等により、売上の減少影響を抑制して損失が改善しました。

なお、本年4月より持分法適用関連会社となったPixellogic Holdings, LLCと連携し、新規映像配信プラットフォーム向け等の受注増の取り組みを継続しております。

4) 映像システム事業

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は89億55百万円(前年同四半期比33.6%増)、営業利益は12億50百万円(前年同四半期比86.3%増)となりました。

映像システム分野においては、大型案件の納品を当第2四半期に完了し、またCMオンライン送稿システムはマーケットニーズの拡大もあり販売を順調に伸ばしております。イメージング分野においても、ハイスピードカメラ新製品の欧米での販売が好調に推移しており、映像システム事業全体で大幅な増収増益を達成いたしました。

※前連結会計年度まで「プロ用映像機器分野」と記載し報告してまいりました事業分野について、直近の業態に即し、「映像システム分野」に名称を改めました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて62億17百万円(15.5%)減少し、339億1百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金、並びにたな卸資産が減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて7億47百万円(3.0%)増加し、253億53百万円となりました。

これは主に、土地が赤坂ビデオセンター売却に伴い減少した一方で、関係会社株式がPixelogic Holdings, LLCの株式取得に伴い増加したことによるものであります。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて54億69百万円(8.5%)減少し、592億55百万円となりました。

②負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて33億76百万円(12.6%)減少し、233億36百万円となりました。

これは主に、前受金、並びに支払手形及び買掛金が減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて18億40百万円(18.2%)減少し、82億74百万円となりました。

これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて52億17百万円(14.2%)減少し、316億10百万円となりました。

③純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて2億52百万円(0.9%)減少し、276億44百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が増加した一方で、非支配株主持分が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想につきましては、2019年5月14日に公表した数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,079,172	5,278,143
受取手形及び売掛金	19,043,240	14,698,981
たな卸資産	11,352,166	10,483,764
その他	3,704,760	3,488,267
貸倒引当金	△60,006	△47,213
流動資産合計	40,119,332	33,901,943
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,249,767	13,098,301
減価償却累計額	△9,682,599	△9,740,410
減損損失累計額	△64,483	△64,483
建物及び構築物(純額)	3,502,684	3,293,406
機械装置及び運搬具	10,979,003	10,606,006
減価償却累計額	△10,752,343	△10,378,091
減損損失累計額	△109,269	△105,816
機械装置及び運搬具(純額)	117,391	122,098
土地	2,944,295	1,705,819
リース資産	1,761,200	1,769,094
減価償却累計額	△960,522	△1,108,458
リース資産(純額)	800,677	660,636
建設仮勘定	60,508	163,780
その他	5,206,019	5,384,100
減価償却累計額	△3,540,247	△3,806,409
減損損失累計額	△7,270	△7,270
その他(純額)	1,658,500	1,570,419
有形固定資産合計	9,084,058	7,516,160
無形固定資産		
ソフトウェア	1,189,223	1,120,381
のれん	3,769,751	3,377,962
その他	4,377,450	4,160,593
無形固定資産合計	9,336,425	8,658,936
投資その他の資産		
投資有価証券	2,780,364	2,769,395
関係会社株式	306,705	2,976,765
敷金及び保証金	1,177,433	1,333,657
繰延税金資産	1,407,252	1,579,999
その他	624,476	653,041
貸倒引当金	△110,528	△134,280
投資その他の資産合計	6,185,703	9,178,579
固定資産合計	24,606,187	25,353,676
資産合計	64,725,520	59,255,620

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,657,281	5,366,863
短期借入金	5,375,309	5,918,097
未払金	3,688,369	4,138,153
未払法人税等	646,989	878,775
前受金	5,735,832	2,727,806
賞与引当金	1,131,264	898,339
役員等報酬引当金	146,678	64,580
受注損失引当金	73,117	93,281
その他	3,257,658	3,250,398
流動負債合計	26,712,502	23,336,297
固定負債		
長期借入金	6,169,835	4,812,259
長期末払金	316,773	180,263
繰延税金負債	493,520	461,622
退職給付に係る負債	1,356,280	1,190,677
その他	1,779,206	1,629,857
固定負債合計	10,115,616	8,274,680
負債合計	36,828,119	31,610,977
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,244,915	3,244,915
資本剰余金	14,816,170	14,811,781
利益剰余金	7,286,290	7,931,402
自己株式	△489,754	△479,516
株主資本合計	24,857,620	25,508,583
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	741,443	560,813
繰延ヘッジ損益	△1,346	△33
土地再評価差額金	△17,933	△17,933
為替換算調整勘定	△442,700	△619,162
退職給付に係る調整累計額	12,919	11,157
その他の包括利益累計額合計	292,382	△65,157
新株予約権	—	11,835
非支配株主持分	2,747,397	2,189,382
純資産合計	27,897,401	27,644,643
負債純資産合計	64,725,520	59,255,620

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	41,904,658	47,422,306
売上原価	31,404,935	36,064,990
売上総利益	10,499,722	11,357,316
販売費及び一般管理費	11,210,436	11,081,854
営業利益又は営業損失(△)	△710,713	275,462
営業外収益		
受取利息	1,531	62,733
受取配当金	24,414	22,305
受取賃貸料	33,725	35,575
持分法による投資利益	22,310	—
為替差益	62,379	—
その他	88,704	50,943
営業外収益合計	233,065	171,558
営業外費用		
支払利息	154,658	169,528
持分法による投資損失	—	280,735
為替差損	—	106,311
その他	17,046	82,820
営業外費用合計	171,704	639,395
経常損失(△)	△649,353	△192,374
特別利益		
固定資産売却益	1,770	1,650,357
その他	369,510	7,753
特別利益合計	371,281	1,658,110
特別損失		
固定資産売却損	24,293	—
固定資産除却損	10,463	16,520
投資有価証券売却損	—	13,650
移転関連費用	18,500	—
その他	14,691	496
特別損失合計	67,948	30,666
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△346,020	1,435,069
法人税等	281,926	1,024,996
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△627,946	410,072
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△463,931	△455,305
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△164,014	865,378

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△627,946	410,072
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△356,307	△181,870
繰延ヘッジ損益	1,396	1,312
為替換算調整勘定	△223,381	△217,412
退職給付に係る調整額	△1,192	△1,761
その他の包括利益合計	△579,485	△399,730
四半期包括利益	△1,207,431	10,341
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△641,946	507,838
非支配株主に係る四半期包括利益	△565,485	△497,496

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 サービス	メディア・ ローカライ ゼーション	映像 システム	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	10,612,807	12,725,565	11,956,521	6,546,958	41,841,852	62,805	41,904,658
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	84,527	540,910	186,649	157,173	969,260	△969,260	—
計	10,697,334	13,266,475	12,143,171	6,704,132	42,811,113	△906,455	41,904,658
セグメント利益 又は損失(△)	△329,550	△28,253	△828,861	671,196	△515,469	△195,244	△710,713

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△195,244千円は、持株会社(連結財務諸表提出会社)等に係る損益1,002,382千円及びセグメント間取引消去△1,197,626千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 サービス	メディア・ ローカライ ゼーション	映像 システム	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	15,409,488	12,127,117	11,108,062	8,772,148	47,416,816	5,490	47,422,306
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	44,762	549,139	12,548	182,914	789,364	△789,364	—
計	15,454,250	12,676,256	11,120,611	8,955,062	48,206,181	△783,874	47,422,306
セグメント利益 又は損失(△)	△26,420	△57,753	△692,156	1,250,617	474,287	△198,824	275,462

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△198,824千円は、持株会社(連結財務諸表提出会社)等に係る損益1,444,478千円及びセグメント間取引消去△1,643,303千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。